

平成26年度第2回 事業評価対象事業の一覧表

(再評価)

No.	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価 理由	事業概要
1	港湾事業	神戸港ポートアイランド(第2期)地区国際海上コンテナターミナル整備事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」の国際競争力を強化することを目的とし、岸壁、航路・泊地等の整備を行う。 ●事業化年度 : 昭和62年度 ●全体事業費 : 3,444億円 ●事業の進捗 : 約83% ●今後の予定 : 平成32年度完成に向け事業進捗を図る。
2	港湾事業	舞鶴港前島地区複合一貫輸送ターミナル(改良)事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 舞鶴と小樽を結ぶ定期フェリーが大型化しており、暫定利用しているフェリーに必要な水深・岸壁延長を確保するため、岸壁改良や泊地等の整備を行う。 ●事業化年度 : 平成19年度 ●全体事業費 : 50億円 ●事業の進捗 : 約72% ●今後の予定 : 平成28年度完成に向け事業進捗を図る。
3	河川事業	円山川直轄河川改修事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 平成25年3月に策定した円山川水系河川整備計画に定める河川整備により、観測史上最大となる平成16年10月洪水(台風23号)と同規模の洪水が発生した場合でも、家屋等の浸水被害の軽減を図る。 ●事業化年度 : 平成24年度(円山川水系河川整備計画:平成25年3月策定) ●全体事業費 : 約304億円 ●事業の進捗 : 約31% ●今後の予定 : 当面は、平成21年9月洪水で再度浸水被害のあった地区の整備を完了させる。
4	河川事業	加古川直轄河川改修事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 平成23年12月に策定した加古川水系河川整備計画に定める河川整備により、戦後最大規模となる平成16年台風23号洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、浸水被害の防止または軽減を図る。 ●事業化年度 : 平成23年度(加古川水系河川整備計画:平成23年12月策定) ●全体事業費 : 約582億円 ●事業の進捗 : 約18% ●今後の予定 : 当面は、中流部の家屋浸水対策と、上流部の平成16年台風23号で被害が大きかった地区の河道掘削を完了させる。
5	河川事業	揖保川直轄河川改修事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 平成25年7月に策定した揖保川水系河川整備計画に定める河川整備により、戦後最大となる甚大な被害が発生した昭和51年9月の洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、家屋浸水被害の防止または農地等の浸水被害の軽減を図ることが可能となるとともに、平成21年8月の洪水に対しても浸水被害の軽減を図る。 ●事業化年度 : 平成25年度(揖保川水系河川整備計画:平成25年7月策定) ●全体事業費 : 約424億円 ●事業の進捗 : 約7% ●今後の予定 : 当面は、本川下流部の流下能力向上対策と、中流部の平成16年洪水の再度災害防止及び平成21年洪水対策を完了させる。
6	河川事業	大和川直轄河川改修事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 平成25年11月に策定した大和川水系河川整備計画に定める河川整備により、戦後最大となる昭和57年8月洪水と同規模の洪水が発生しても、洪水はん濫による浸水被害の防止を図る。 ●事業化年度 : 平成25年度(大和川水系河川整備計画:平成25年11月策定) ●全体事業費 : 約1,414億円 ●事業の進捗 : 約7% ●今後の予定 : 当面は、下流部と佐保川の流下能力向上対策、高規格堤防整備、遊水地整備を進捗させる。
7	河川事業	九頭竜川直轄河川改修事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 平成19年2月に策定した九頭竜川水系河川整備計画に定める河川整備により、戦後最大規模の洪水が発生した場合でも、洪水調節施設整備後において浸水被害の防止を図る。 ●事業化年度 : 平成18年度(九頭竜川水系河川整備計画:平成19年2月策定) ●全体事業費 : 約484億円 ●事業の進捗 : 約30% ●今後の予定 : 当面は、日野川の足羽川合流点下流部の流下能力向上対策と、本川中流部の河道掘削を完了させる。
8	河川事業	北川直轄河川改修事業	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 平成24年10月に策定した北川水系河川整備計画に定める河川整備により、遠敷川合流点から下流部で戦後最大となる昭和28年9月洪水と同規模の洪水が発生した場合でも、洪水調節施設整備後において浸水被害の防止または軽減を図る。 ●事業化年度 : 平成24年度(北川水系河川整備計画:平成24年10月策定) ●全体事業費 : 約59億円 ●事業の進捗 : 約19% ●今後の予定 : 当面は、水取地区の河道掘削を完了させる。
9	道路事業	一般国道1号栗東水口道路 I	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 甲賀湖南道路の一部を形成し、名神高速道路へのアクセス改善、国道1号の交通混雑の緩和・交通安全の確保などを目的とした延長4.3kmの道路。 ●事業化年度 : 平成元年度 ●全体事業費 : 430億円 ●事業の進捗 : 約81% ●今後の予定 : 平成27年度に I 期区間の2車線供用を目指す。
10	道路事業	一般国道9号京都西立体交差	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 京都市内の東西交通の主軸として重要な役割を担う国道9号の交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした延長3.8kmの道路改良事業。 ●事業化年度 : 平成11年度 ●全体事業費 : 321億円 ●事業の進捗 : 約76% ●今後の予定 : 早期の供用を目指す。
11	道路事業	一般国道24号紀北西道路	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 近畿圏外周部の環状道路である関西大環状道路を構成する京奈和自動車道の一部を形成し、高規格幹線道路網のネットワーク効果を高めるほか、沿線地域の産業支援、並行道路の交通安全の確保などを目的とした延長12.2kmの道路。 ●事業化年度 : 平成9年度 ●全体事業費 : 1,160億円 ●事業の進捗 : 約27% ●今後の予定 : 平成27年度に全線2車線供用を目指す。
12	道路事業	一般国道24号大和北道路	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 近畿圏外周部の環状道路である関西大環状道路を構成する京奈和自動車道の一部を形成し、高規格幹線道路網のネットワーク効果を高めるほか、沿線地域の産業支援、観光行動の支援などを目的とした延長6.3kmの道路。 ●事業化年度 : 平成20年度 ●全体事業費 : 850億円 ●事業の進捗 : 約1% ●今後の予定 : 早期の供用を目指す。
13	道路事業	一般国道163号清滝生駒道路	H23	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要 : 学研都市連絡道路の一部を形成し、国道163号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、学研都市へのアクセス向上などを目的とした延長11kmの道路。 ●事業化年度 : 昭和54年度 ●全体事業費 : 1,066億円 ●事業の進捗 : 約55% ●今後の予定 : 平成27年度に慢性的な混雑が発生している高山大橋交差点の供用を目指す。

【再評価理由】

- ①: 事業採択後3年間の経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間の経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間の経過している事業
- ④: 再評価実施後3年間の経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

事業評価対象事業の位置図

